

絵本の取り組み報告書

ちやいれっく東別院駅前保育園

① 年間のテーマ（活動のねらい）

- いろいろな学年の絵本に触れる。
- 絵本の楽しさを知る。
- 集中力を養う。

② 取り組み内容

- 1カ月に1回「お話会」の日を設ける。
- 幼児の部屋に集まって全員で読み聞かせを聞く。
- 月ごとに各2冊（担任から（クラスの子どもが好きな絵本）・係から（読み聞かせしたい絵本）を選ぶ。



③ 各年齢のねらい

- 0歳児
「繰り返す言葉・表現を楽しむ」「動きを真似することを楽しむ」
- 1歳児
「歌に合わせて楽しみながら読み聞かせをする」「声に出して一緒に読むこと・破裂音を楽しむ」
- 2歳児
「動物に興味を持ち名前を知る」「交通ルールを知る・交通ルールを守る」
- 3歳児
「登場人物の気持ちを想像してみる」「次の展開に期待を持ちながら楽しんで絵本を見る」
- 4歳児
「お友だちと自分の好きなものを分け合う嬉しさを知る」「信じること信じられることの尊さを感じる」
「家族という安心できる存在の大切さを実感する」
- 5歳児
「色や形の変化を一緒に楽しむ」「相手を思う・人を大切にする純粋な気持ちに触れる」
「ハラハラ・ドキドキしたあと、楽しく終わって安心感を得る」

● 絵本 ●

- ：0歳児 『だるまさんが』『ぼうしかぶって』
- ：1歳児 『おばけなんてないさ』『ぺったんこぶっくらこ』
- ：2歳児 『しんごうきピコリ』『しろくまのパンツ』
- ：3歳児 『おばけのきもだめし』『パンになりたい』
- ：4歳児 『おまえうまそうだな』『くっきーだあいすき』
- ：5歳児 『こんとあき』『まるまるまるのほん』

④ 子どもたちの反応

- 乳児はリズムに合わせて身体を動かす・幼児は物語の先を想像してお話する子など同じ絵本でも楽しみ方が様々にあることを感じられた。
- 保育者が楽しみながら読むことで、聞いている子どもたちも楽しみながら絵を追いかける姿が見られた。
- 繰り返しの話で、次に来るものを想像している期待感が感じられた。
- 絵本に興味を持ち、一緒になって喜んだり悔しがったりする姿が見られた。
- イラストを楽しんでいる子、初めて見るものを楽しんでいる子など思い思いに楽しんでいた。
- 分かりやすい題材や身近なイラストだと乳児・幼児問わず真剣に聞いている姿が見られた。
- 最後の問いかけ場面で盛り上がり声が上がっているのが、絵本を真剣に聞いていたからだと感じた。
- お話会当日のおやつの内容と関連した内容の絵本だったのでより身近に感じて興味を持つ姿が見られた。
- 子どもが真剣な表情で聞き入っているのが感じられた。次への期待感も感じられた。
- 絵本の登場人物に感情移入して不安そうな表情をしたり、ホッとした表情を浮かべたりしていた。この絵本を通して幸せな気持ちが感じられているのだな、と感じた。

⑤ 最後に

8月から毎月「お話会」としての絵本の読み聞かせ活動を通じ、子どもたちだけではなく保育者自身も様々な年齢の絵本に触れることが出来、同じ絵本でも楽しみ方は様々であることを感じた。また、子どもたちからお話会後毎回「楽しかった！」と声があがり、絵本を楽しむ良いきっかけ作りが出来たと感じる。今後もこの活動を続けていきたい。